

テーマ：『 遠賀川の自然を守ろう 』

嘉麻市立 碓井小学校

Tel. 0948-62-2031 担当者： 浅海泰司



■実践内容：

碓井小学校4年生は、「遠賀川を守るプロジェクト」と題して総合的な学習の時間を使って、地域を流れる遠賀川の環境調査を中心に取り組んできた。特に遠賀川の源流から河口堰まで(全長62km)を河川の様子や水質・生き物・ごみ調べなどを中心に行い、身近な環境を大切にする心情と環境問題に対する意識の向上を図った。

学校ビオトープ(小川)を制作することによって、学校の中に身近な生き物が生息できる環境を作り、子どもたちが日常的に触れ合うことができるようにした。

飼育栽培委員会では、「鮭のふ化・放流」をおこなった。また、昨年末に完成した学校ビオトープを使って生き物調査を実施し、どのような生き物が住み着くようになったかを調べる活動をおこなった。

■実践成果：

- 「遠賀川」の調査する体験活動を通して、河川の汚れが進んでいることや昔住んでいた生き物が少なくなっていることなどが分かり、自然の生き物に関心を持ち、自然を大切にする事の大事さを実感することができた。
- 学校ビオトープを制作することによって、身近な生き物に関心を持ち、触れ合うことの大切さを学ぶことができた。

■実践ポイント：

遠賀川の源流から河口堰まで現地調査(4ポイント)を設定し、体験活動(調査活動)を取り入れることによって、児童が遠賀川の様子や環境について実感できたことがとても有効であった。また、「鮭の飼育・放流」の活動をしたり、校内に「学校ビオトープ」を作成したりすることによって、身近な水辺の生き物に接する機会が増え、自然環境に対する意識が高まりつつあると思われる。今後もさらに、整備を続け日常的に活用できる学校ビオトープにしていきたい。